

その
3

「七ツ岳」



- ・七ツ岳は標高957mで湯ノ岱地区からおおよそ南へ直線距離で約13kmに位置し、山頂は知内町、福島町の町境となっている。
- ・山頂からは日本海と津軽海峡を見下ろし、好天時は岩木山まで望むことができる。
- ・廃校となった湯ノ岱小学校の校歌にも唄われており、湯ノ岱地区の人々から愛着がある。

教育委員会文化財グループまで

ぼくらの
マイ文化財

歴史文化基本構想策定にあたり
把握した地域の様々な文化について
紹介します。



協力して組み立てる児童

このほど上ノ国小学校の6年生24人が総合学習の一環で、縄文時代の家である堅穴式住居を製作しました。

上ノ国小6年生、 堅穴式住居作る

これは、児童も製作を通じ縄文文化について考えてもらおうと行つたもので、児童は事前に堅穴式住居の模型を作り、念入りに家の構造を確認していました。

炎天下の中、児童は自分たちで、家の大きさや柱の位置を決め、地面に印をつけていきました。使い慣れないスコップを使い、柱を立てる穴や、柱材を押さえられるための溝を汗だくになりました。家の上屋を建てる際は先生方の力を借りました。

児童は事前に堅穴式住居の模型を作り、念入りに家の構造を確認していました。

が、ほとんどは児童が協力して完成させました。

また、7月24日には親子

レクの一環として勾玉作りを行いました。遺跡から出でてくる勾玉を模倣したり、

自分の理想とする形を求めるなど様々な形の勾玉が作りだされました。

児童の一人は「縄文時代

の歴史を学ぶことができよかったです。大きなものも、人と人が協力していくことでなんでも作ることができることだな」と感心した様子で話していました。

小学生 縄文化の一端に触れる レッツ！縄文体験！行こう

9月20日(水) 午後3時ごろ～

*新しく入った絵本を中心に読みます。

開設時間：(火～金) 9:00～17:00
(土日・祝祭日) 12:00～17:00
休館日：毎週月曜日、年末年始
場所：上ノ国町民図書室(ジョイ・じょぐら)

絵本の読みきかせ

9月20日(水) 午後3時ごろ～

*新しく入った絵本を中心に読みます。

この講座は、町内で縄文時代の遺跡や土器が発見されていることにちなみ企画したもので、講師は教育委員会学芸員が務めました。

6年生までの17名が参加しました。

上之国館調査整備センターで開催し、小学1年生から6年生までの17名が参加しました。

はじめて樹脂粘土を使つて、本を参考にしながら思い思いの形に仕上げていました。



縄文風アクセサリー作りに挑戦



マイギリ式で火おこし

続いてキリモミやマイギリなど当時の道具を使つた火おこし体験では、最初はぎこちない手つきでしたが、慣れるにつれて上手に使いこなしていました。

火おこし体験では、最初は

火おこし体験では、最初は

また、昼食として縄文時代から食べられていた鹿肉を使つた縄文カレーを作りました。鹿肉を初めて食べる児童もいましたが、気に入つて2杯3杯とかわりしてました。

参加した児童の一人は「アクセサリー作りが楽しかった」と話し、縄文文化を満喫していました。